

R4年度 事業名	不登校対策事業
R3年度 事業名	不登校対策事業

総合戦略 体系	321	若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	学校教育環境の充実
------------	-----	-------------	----------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	学校教育課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	学校へ行けないうる子どもたちの学校復帰や社会的自立を促す。				
	概要	学校へ行けないうる子どもたちの心の居場所、学びの場として適応支援教室(チャイルドセンター)を運営し、学校復帰や社会的自立を促す支援を行う。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令等 根拠 現在	市直営	実施 形態	内容	教育相談・適応相談員を配置し、学級復帰支援業務や学習指導を行う。	

活動指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
相談員人数		人	目標値	5	4	4	5	5
			実績値	4	4	4		
成果指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
学校復帰率		%	目標値	50	50	70	70	70
			実績値	87.7	94.5	90.9		
計算 根拠	復帰児童生徒数/適応指導教室通室児童生徒数*100	達成率	175	189	129.9			
		実数値	57/65	52/55	50/55			
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	5,869	5,932	9,260	9,057	12,066		事業タイプ	単独事業
	決算額	5,492	5,166	7,772	8,507			経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	1	3	221	不登校対策事業費	12,066	12,066
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	12,066

補助金等	No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
	1		
	2		
	3		
	4		
	5以降		
		合計	0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	5
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計 点数	10
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	市民団体や事業者による業務委託しているか。 (1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒	内容拡大
取組内容	引き続き、適応指導教室において問題を抱える児童生徒の実態に応じ、関係者と情報の共有化を図りながら支援する。また、不登校児童生徒自立支援応援事業も含め、家に引きこもっている児童生徒に対しても実態に応じて、関係者と情報の共有化を図りながら支援する。児童生徒の実態に応じた支援ができるよう、高い専門性や指導力を持つ人材を配置する。	
来年度へ向けて	R3年度の実績	適応指導教室において問題を抱える児童生徒の実態に応じ、関係者と情報の共有化を図りながら支援した。また、不登校児童生徒自立支援応援事業も含め、家に引きこもっている児童生徒に対しても実態に応じて、関係者と情報の共有化を図りながら支援した。
	R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	適応指導教室に通室している児童生徒が抱える課題は、発達障害や家庭環境など多様で、複合化しているものも多く、かつ相談件数も増えている。このため、R4年度は高い専門性と指導力、および経験豊富な相談員を増員して対応しており、その需要も高く、今後も引き続き人材を確保して事業を実施していく必要がある。
	実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	児童生徒の実態に応じた支援ができるよう、高い専門性や指導力を持つ人材を配置し、問題を抱える児童生徒への支援を強化していく。
	R5方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー配置事業
R3年度 事業名	スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー配置事業

総合戦略 体系	321	若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	学校教育環境の充実
------------	-----	-------------	----------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	学校教育課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	児童生徒の心の悩みや問題行動等を解決する。				
	概要	児童生徒の臨床心理に関して専門的な知識・経験を有するスクールカウンセラーと、福祉に関する専門的な知見を有し関係機関との連携・調整を行うスクールソーシャルワーカーを配置し、児童生徒の心の悩みや問題行動等の解決に努める。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度)4月、5月が臨時休業となり、授業日数確保のため夏季休業期間を短縮したことに伴う登校日数増に対応するため、スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーの配置時間を6週間分追加。 (R3年度)特になし (R4年度)特になし				
法令等 根拠		実施 形態	内容	スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーとして専門職員を配置する。		
現在	市直営					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	配置時間/校・週		時間	目標値	4	4	4	4	4
				実績値	4	4	4		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	カウンセリング実施率		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100		
	計算 根拠	カウンセリング実施数/カウンセリング相談件数		達成率	100	100	100		
				実数値	3,166/3,166	3,495/3,495	2,464/2,464		
		ランク		A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	6,879	7,949	9,719	8,837	8,534		事業タイプ	単独事業
	決算額	6,465	6,429	8,792	8,837			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	1	3	211	学校生活・学習支援事業費	102,920	8,534	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	8,534

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1	スクールソーシャルワーカー活用事業委託金	2,548
2		
3		
4		
5以降		
合計		2,548

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	1548

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
合計点数	判定
11	維持または事務改善

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	児童生徒の臨床心理に関して専門的な知識・経験を有するスクールカウンセラーと、福祉に関する専門的な知見を有し関係機関との連携・調整を行うスクールソーシャルワーカーを配置し、児童生徒の心の悩みや問題行動等の解決に努める。
来年度へ向けて	R3年度実績 R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 児童生徒の臨床心理に関して専門的な知識・経験を有するスクールカウンセラーと、福祉に関する専門的な知見を有し関係機関との連携・調整を行うスクールソーシャルワーカーを配置し、児童生徒の心の悩みや問題行動等の解決に努めた。 不登校児童生徒に加え、コロナ禍で不安を抱えている児童生徒が増加しているため、教育相談体制の充実が必要となっており、学校担当者と連携し、スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーを積極的に活用していく。
	実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 引き続きスクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーを積極的・効果的に活用する。
	R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
	CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>
---------	--

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>
---------	--

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	英語に親しむ活動事業
R3年度 事業名	英語に親しむ活動事業

総合戦略 体系	321	若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	学校教育環境の充実
------------	-----	-------------	----------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	学校教育課	開始年度	1998	終了年度	9999
	目的	児童の国際理解教育を推進する。				
	概要	小学生3年生から6年生までの児童を対象に、外国人講師による英会話での授業を行う。 (3・4年生は年間18回、5・6年生は年間35回)				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令等 根拠 現在	民間等委託(一部)	実施 形態	内容	民間業者と契約し外国人講師の派遣にかかる手数料を支払う。	

活動指標							
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
授業回数	回	目標値	2,685	2,722	2,791	2,790	2,790
		実績値	2,579	2,711	2,783		
成果指標							
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
「外国語の学習が好き」と思う児童の割合	%	目標値	78	78	78	78	79
		実績値	77.2	77.9	78.9		
計算 根拠	「外国語の学習は好きですか」(SASA5年生対象)	達成率	99.0	99.9	101.2		
		実数値	521/675	517/664	565/716		
		ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由							

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	16,800	17,083	17,292	17,292	17,724		事業タイプ	単独事業
	決算額	16,746	16,250	17,222	17,168			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	2	2	201	教育振興諸経費	71,513	17,724	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	17,724

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	24

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	10
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒	維持
取組内容	小学校5、6年生は年間35回、小学校3・4年生は年間18回、外国人講師を派遣し、児童が異なる文化を肌で感じながら、よき国際人として成長する基礎を養う。 なお、児童が外国語活動・英語科の活動により意欲的に取り組めるように、これまで以上に外国人講師と担任の連携を図りながら授業を進めていく。	
来年度へ向けて	R3年度の実績	小学校5、6年生は年間35回、小学校3・4年生は年間18回、外国人講師を派遣し、児童が異なる文化を肌で感じながら、よき国際人として成長する基礎を養った。(うち8回は新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休業により中止)
	R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	本事業により、英語に対して好きだと感じる児童が増え、英会話能力の向上も図られており、今後も感染予防を徹底しながら実施する必要がある。
	実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	新型コロナウイルスの感染状況をみながら、指導時間数を計画的に確保する。
	R5方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	中学生職場体験活動支援事業			
R3年度 事業名	中学生職場体験活動支援事業			
総合戦略 体系	242	若者が住みたくなるまちの創造	ものづくり教育とふるさと学習の推進	ものづくりを核としたふるさと教育の推進

PLAN (計画)	部署名	学校教育課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	働く意識を高める教育を推進する。					
	概要	各中学校の2年生が事業所で2日間の職場体験活動を実施する。					
	コロナ対応 の取組	(R2年度) 感染予防のため中止。代替として、商工会議所と連携し各学校において「中学生向け起業体験セミナー」を実施。 (R3年度) 感染予防のため中止。代替として、商工会議所と連携し各学校において「中学生向け起業体験セミナー」を実施。 (R4年度) 感染状況を踏まえて中止とする。代替として、商工会議所と連携し各学校において「中学生向け起業体験セミナー」を実施予定。					
	法令等 根拠		実施 形態	内容	学校が市内の企業や作業所に受入を依頼し、職場体験活動を行っている。		
現在	市直営						

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	受入れ事業所数		箇所	目標値	450	-	-	-	150
				実績値	149	-	-	-	-
	市内中学校実施校数		校	目標値					3
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	参加生徒数		人	目標値	692	-	-	693	693
				実績値	658	-	-	-	-
	計算 根拠	対象生徒数(中学2年生)		達成率	95.1	-	-	-	-
				実数値					
				ランク	A	-	-		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,034	1,008	1,028	924	1,028		事業タイプ	単独事業
	決算額	1,029	969	695	647			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	3	2	231	中学生体験活動支援事業費	1,028	1,028	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	1,028

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	2

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	9
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止 維持または事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	中学校2年生が、将来就きたい仕事を見つけるため、市内の事業所で職場体験活動を行う。しかし、コロナの感染状況によっては活動を中止し、代替として鯖江商工会議所と連携して中学生向けの起業セミナーを実施する。
来年度の実績	新型コロナウイルス感染症の影響により職場体験活動は中止し、代替として鯖江商工会議所と連携して中学生向けの起業セミナーを実施した。
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	R2年、3年度に引き続き、R4年度も状況が良くならない為、計画していたが中止とした。令和5年度の実施に向け、WITHコロナでの事業内容および実施方法について、感染状況を踏まえつつ、相手事業所と協議しながら計画する必要がある。
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	事業内容等について、WITHコロナでの実施方法を検討する。
R5方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	可能	可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>

取組可能な事業の詳細⇒



R4年度 事業名	食育学習推進事業			
R3年度 事業名	食育学習推進事業			
総合戦略 体系	321	若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	学校教育環境の充実

PLAN (計画)	部署名	学校教育課	開始年度	2005	終了年度	9999
	目的	子どもたちが「食」に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に着ける。				
	概要	子どもたちが「食」に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に着けるための学習や体験活動を実施する。 (野菜の栽培・学校給食への利用、伝統料理教室の開催、朝食摂取等のアンケート等)				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令等 根拠 現在	食育基本法 市直営	実施 形態	内容	各小学校においても野菜の栽培や学校給食への利用、伝統料理教室の開催などを行っている。	

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	事業実施回数		回	目標値	12	12	12	12	12
				実績値	12	12	12		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	児童生徒の朝食摂取率		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	99.5	98.0	99.7		
	計算 根拠	朝食摂取者/児童生徒数(1週間毎日朝食摂取者)で、年1回全小中学校に「朝食摂取者調べ」実施		達成率	99.5	98.0	99.7		
				実数値	6,225/6,257	5,889/6,007	1,789/1,794		
		ランク		A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	2,940	2,640	2,640	2,375	2,375		事業タイプ	単独事業
	決算額	2,714	2,524	2,469	2,031			経費区分	物件費

No	款	項	目	事業	R4年度事業名			
					予算書額	うち事業額(千円)		
1	10	2	2	231	食育学習推進事業費	2,375	2,375	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	2,375

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.01
	会計年度職員	0.05
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

行政が実施すべき事業か。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

住民等のニーズは増えているか。  
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)  
 増加する見込み  横ばい  減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
9	0点~8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または 事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)  
 節減できている  横ばい  増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

成果は目標を達成できているか。  
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)  
 目標を達成できている  進展している  目標に向かっていない

ACTION

今年度 R4方向性⇒

取組内容 年間を通して、「食」への知識・理解を深めるための学習や体験活動などの食教育を実施する。

来年度へ向けて R3年度の実績 年間を通して、「食」への知識・理解を深めるための学習や体験活動などの食育を家庭や地域と連携しながら行った。また、食に関するアンケートを各学校で実施し、集計した結果を公表することで家庭や地域、学校における食育の推進状況を把握することができた。

R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 食育に関心の薄い保護者や家庭もあり、アンケート結果だけでなく、食育の授業の様子や野菜の収穫などを給食だよりや学年だより、学校ホームページを利用して発信していく必要がある。

実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 特になし

R5方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	教科研究事業補助			
R3年度 事業名	教科研究事業補助			
総合戦略 体系	321	若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	学校教育環境の充実

PLAN (計画)	部署名	学校教育課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	児童生徒の指導育成のために教員が自主的に行う研究活動を推進する。				
	概要	市内小中学校の教員が25部会に分かれて教科ごとに行う研究活動に対し補助を行う。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度)4月、5月が臨時休業となったことによる授業時数の確保や感染予防のため、各教科等研究部会の開催数減。 (R3年度)感染状況を踏まえて実施。 (R4年度)感染状況を踏まえて実施する。				
法令等 根拠		実施 形態	内容	鯖江市小中学校教育研究部が行う教育研究活動に補助金を交付している。		
現在	補助金等交付					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	教科等研究部会の延べ開催回数		回	目標値	100	50	50	100	100
				実績値	170	114	151		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	研究活動刊行物発行数 ※～2020年度		部	目標値	40	40			
				実績値	40	40			
	計算 根拠	対象となる教科等研究部会数・学校数		達成率	100	100			
				実績値					
年間の活動報告 ※2021年度～		回	目標値			1	1	1	
			実績値			1			
計算 根拠			達成率			100			
			実績値						
		ランク	A	A	A				
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	380	350	350	315	315		事業タイプ	単独事業
	決算額	380	350	285	296			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	1	3	601	教科研究補助金	315	315	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	315

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	10

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	9
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	教職員による教育文化研究の活動に要する経費に補助を行う。
来年度の実績	R3年度 各教科ごとに研究活動を実施し、研究活動の刊行物を発行した。
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	R3年度も新型コロナウイルス感染症による影響で事業内容を見直して実施。各教科の積極的な研究活動により、児童生徒の学力向上や自己教育力の高揚が図られており、今後も補助を行い事業を継続させる必要がある。
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	新型コロナウイルスの感染状況を踏まえて工夫しながら研究活動を実践する中で、活動報告の共有方法については、デジタル化に向けて引き続き検討していく。
R5方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>

R4年度 事業名	特別支援学級諸事業補助			
R3年度 事業名	特別支援学級諸事業補助			
総合戦略 体系	321	若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	学校教育環境の充実

PLAN (計画)	部署名	学校教育課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	特別支援学級に通う児童生徒の社会適応性を培うために行う事業を推進する。				
	概要	他校との合同運動会や学習発表会などの事業に対し補助を行う。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度) 感染予防のため、一部の事業のみ実施。 (R3年度) 感染状況を踏まえ、内容を一部見直して実施した。 (R4年度) 感染状況を踏まえて実施する。				
法令等 根拠		実施 形態	内容	特別支援学級を設置している学校が実施する事業に補助を行う。		
現在	補助金等交付					

活動指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
対象児童生徒が参加する行事実施回数		回	目標値	4	2	2	2	2
			実績値	4	2	2		
計算 根拠	各種事業のうち補助対象となる事業	達成率	100	100	100			
		実数値						
		ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	368	368	368	335	285		事業タイ	単独事業
	決算額	318	148	108	98			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	1	3	611	特別支援学級事業費等補助金	285	285	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	285

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	15

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
合計点数	9
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

ACTION

今年度 R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>	取組内容 育友会事業と特別支援教育研究部が実施する学習発表会、および連合体育大会の開催にかかる経費に対して補助する。
来年度の実績	R3年度 育友会事業と特別支援教育研究部が実施する学習発表会、および連合体育大会の開催にかかる経費に対して補助した。
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	R3年度は新型コロナウイルス感染症による影響で事業内容を一部見直し、学習発表会と連合体育大会を開催した。各事業の開催によって特別支援学級児童生徒の社会適応性の向上が図られており、今後も補助を行い事業を継続させる必要がある。
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	事業内容等については、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえて実施する。
R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>	CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	情操教育推進事業補助			
R3年度 事業名	情操教育推進事業補助			
総合戦略 体系	321	若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	学校教育環境の充実

PLAN (計画)	部署名	学校教育課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	児童生徒の情操教育のために行う事業を推進する。					
	概要	演劇鑑賞などの事業に対し補助を行う。					
	コロナ対応 の取組	(R2年度) 感染予防のため、観劇(幼稚園、こども園、小学校)を中止。 (R3年度) 感染状況を踏まえ、人数制限等コロナ対策を十分行って実施した。 (R4年度) 感染状況を踏まえて実施する。					
	法令等 根拠 現在	補助金等交付	実施 形態	内容	市内の小中学生、幼稚園児に対し他人を思いやる心を育てる演劇鑑賞や啓発看板の設置等に要する経費に補助を行う。		

活動指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
観劇実施回数		回	目標値	12	-	12	12	12
			実績値	12	-	12		
計算 根拠	補助対象となる事業のうち子どもが参加する事業	達成率	100	-	100			
		実数値						
		ランク	A	-	A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	540	500	500	450	500		事業タイプ	単独事業
	決算額	540	500	300	450			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	1	3	621	情操教育推進事業費補助金	500	500	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	500

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	5

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

行政が実施すべき事業か。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

住民等のニーズは増えているか。  
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)  
 増加する見込み  横ばい  減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
10	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)  
 節減できている  横ばい  増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

市民団体や事業者による業務委託しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

成果は目標を達成できているか。  
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)  
 目標を達成できている  進展している  目標に向かっていない

ACTION

今年度 R4方向性⇒

取組内容 「鯖江市心のあたたかい人づくり推進委員会」の活動として行っている、市内の小中学生、幼稚園児に対し他人を思いやる心を育てる演劇鑑賞や啓発看板の設置等に要する経費に補助を行う。

来年度の実績 R3年度 市内の児童生徒および園児の豊かな心づくりと健全育成を目指す事業に対して補助を行った。R3年度は、会場の人数制限や常時換気等、劇団員の度々のPCR検査実施等、感染防止を徹底し、市内12小学校と、幼稚園・こども園の7園で観劇を実施した。

R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 R4年度も、感染対策を徹底して実施し、児童たちへの情操教育が図られており、今後も補助を行い事業を継続させる必要がある。しかし、1回の観覧数の制限による観劇回数の増加や、常時換気、劇団員の度々の検査実施などの感染対策徹底により、観劇実施にかかる費用が高まっており、その他の啓発活動にかけられる経費が限られる状況にある。

実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 感染対策徹底により、観劇実施にかかる費用が高み、その他の啓発活動にかけられる経費が限られる状況にあり、事業予算について検討する。

R5方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名

R5年度事業名

取組可能な事業の詳細⇒



R4年度 事業名	小中学校連合音楽会補助事業
R3年度 事業名	小中学校連合音楽会補助事業

総合戦略 体系	325	若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	文化活動の推進
------------	-----	-------------	----------------	---------

PLAN (計画)	部署名	学校教育課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	音楽教育の振興と音楽担当教員の資質向上を図るための連合音楽会の開催を支援する。				
	概要	市内小中学校による連合音楽会の開催費用に対し補助を行う。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度) 感染予防のため中止。 (R3年度) 感染予防のため中止。 (R4年度) 感染状況を踏まえて実施予定。				
	法令等 根拠 現在	補助金等交付	実施 形態	内容	鯖江市音楽研究部が行う連合音楽会の開催や各小中学校が参加に要する経費について補助金を交付している。	

活動指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
鯖江市音楽研究会の開催		回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	9		
成果指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
連合音楽会参加校数		校	目標値	15	15	15	15	15
			実績値	15	-	-		
計算 根拠	小中学校連合音楽会が補助対象事業		達成率	100				
			実数値					
			ランク	A	-	-		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	250	380	380	250	250		事業タイプ	単独事業
	決算額	250	380	0	0			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	1	3	631	小中学校連合音楽会等補助金	250	250	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	250

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	2

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	9
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input type="radio"/> 目標を達成できている <input checked="" type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	鯖江市内の小中学校による連合音楽会の開催および参加に要する経費に補助を行う。
来年度の実績	R3年度 新型コロナウイルス感染症の影響により小中学校による連合音楽会は中止した。
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	R2年度に引き続き、3年度も新型コロナウイルス感染症による影響で中止となったが、連合音楽会によって音楽教育の振興と音楽担当教員の資質向上が図られており、今後も補助を行い継続させる必要がある。 なお、東海北陸小中学校音楽教育研究大会福井大会が開催された関係で、例年より部会の開催回数が増えている。
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	事業内容等については、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえて実施する。
R5方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	学校生活支援ボランティア事業
R3年度 事業名	学校生活支援ボランティア事業

総合戦略 体系	321	若くて元気のまちの創造	子どもがいいきと過ごすまち	学校教育環境の充実
------------	-----	-------------	---------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	学校教育課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	地域の一般ボランティアに学校の教育活動を支援していただく体制を整備する。				
	概要	地域の一般ボランティアに児童の校外学習や伝統工芸などの体験活動、感謝祭や交通安全教室などの学校行事、図書室の本の整理や花壇、畑の整備などの環境整備などを行っていただく際のボランティア保険料を負担する。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度) 感染予防のため、支援していただく行事等が減。 (R3年度) 感染予防のため、支援していただく行事等が減。 (R4年度) 感染予防のため、支援していただく行事等が減る可能性あり。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容	各小学校がボランティアを募集。支援を行っていただく際の傷害保険料支払いを学校教育課で行っている。	
現在	市直営					

活動指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
ボランティア登録人数		人	目標値	320	250	250	250	250
			実績値	327	258	260		
計算 根拠			達成率	102.1	103.2	104.0		
			実数値					
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	130	116	116	116	105		事業タイ	補助(県)事業
	決算額	130	114	91	91			経費区分	物件費

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
							事業費	補助金等
1	10	2	2	201	教育振興諸経費	71,513	105	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	105

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1	学校生活ボランティア推進事業費補助金	105
2		
3		
4		
5以降		
合計		105

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	10

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

行政が実施すべき事業か。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

住民等のニーズは増えているか。  
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)  
 増加する見込み  横ばい  減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
10	0点~8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または 事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)  
 節減できている  横ばい  増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

成果は目標を達成できているか。  
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)  
 目標を達成できている  進展している  目標に向かっていない

ACTION

今年度 R4方向性⇒

取組内容 地域の一般ボランティアを拡充するために、広報活動に力を入れ、ボランティアの確保につなげ、学校生活を支援する。

来年度の実績 R3年度 260名の地域一般ボランティアの方の確保ができ、学校生活の支援ができた。

R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 R3年度も、R2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染の影響により、支援をいただく機会が減少したが、地域と一体となった教育活動を推進するため、今後も感染予防を徹底しながら一般ボランティアに支援していただく体制を継続して整備する必要がある。

実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 支援していただく内容等については、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえて検討・判断するよう各学校に徹底する。

R5方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名

R5年度事業名

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	ICT学習支援事業
R3年度 事業名	ICT学習支援事業

総合戦略 体系	241	若者が住みたくなるまちの創造	ものづくり教育とふるさと学習の推進	IT教育の推進
------------	-----	----------------	-------------------	---------

PLAN (計画)	部署名	学校教育課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	小中学校でコンピュータを活用したICT教育を積極的に推進し、学校教育における情報教育を充実する。				
	概要	各小中学校に専門知識のある支援員を派遣し、タブレット端末・コンピュータを活用した授業のサポートや技術的支援を行う。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令等 根拠 現在	民間等委託(全部)	実施 形態	内容	学習支援については業者に委託し、各小中学校に年間6回、4時間ずつ、IT支援を行う指導者の派遣を依頼している。	

活動指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
支援時間/校		時間	目標値	37	37	24	24	24
			実績値	37	22	24		
成果指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
児童生徒の受講率		%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
計算 根拠	受講者/児童生徒数	達成率	100	100	100			
		実数値	6,257/6,257	6,175/6,175	6,105/6,105			
		ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	2,309	2,672	2,495	1,485	2,916		事業タイプ	単独事業
	決算額	2,309	2,672	1,584	1,485			経費区分	物件費

No	款	項	目	事業	R4年度事業名		予算書額	うち事業額(千円)
1	10	2	2	201	教育振興諸経費		71,513	2,287
2	10	3	2	201	教育振興諸経費		20,152	629
3								
4								
5以降								
							合計	2,916

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	24

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	11
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	コンピューターを活用した授業のための教師へのサポート、学習支援のための技術的支援を行うことを目的に、各小学校に年間6回、4時間ずつ、各中学校年間6回、4時間ずつ、IT支援を行う指導者を派遣する。これまでの校務支援補助やパソコンルームを使用した授業支援だけでなく、GIGAスクール端末も含む授業支援に対応して教職員をサポートするため、より専門性が高いスキルをもったICT支援員に変更する。
来年度の実績	各小中学校に年間6回、4時間ずつに変更してIT支援を実施。
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	GIGAスクール構想により配備したタブレット端末の活用が進むにつれて、教員の負担が増しているため、一層の支援体制強化が必要である。
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	タブレット端末を使い始める児童生徒への支援は不要とし、その分を支援強化に集約させる。
R5方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	各種学校行事費補助事業
R3年度 事業名	各種学校行事費補助事業

総合戦略 体系	321	若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	学校教育環境の充実
------------	-----	-------------	----------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	学校教育課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	児童生徒の技能や体力増進を図るために開催される各種大会等への参加や部活動を支援する。				
	概要	児童生徒の技能や体力増進を図るために開催される各種大会等への参加や部活動を支援する。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度) 社会科施設見学会、連合体育大会等、多くの行事が中止。 (R3年度) 感染状況を踏まえ、社会科施設見学会等いくつかの行事が中止。 (R4年度) 感染状況を踏まえて実施する。				
法令等 根拠		実施 形態	内容	各種大会等に参加した場合、各学校の保護者会や教科研究部に補助金を交付する。		
現在	補助金等交付					

活動指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
県内大会・競技会への補助対応率		%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
計算 根拠	補助件数/補助対象大会・競技会数		達成率	100	100	100		
			実数値	15/15	3/3	13/13		
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	8,655	8,250	8,050	7,895	10,049		事業タイ	単独事業
	決算額	8,004	7,970	2,065	7,077			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	2	2	602	各種学校行事費補助金	1,449	1,449	
2	10	3	2	611	各種学校行事費補助金	8,600	8,600	
3								
4								
5以降								
							合計	10,049

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)  増加する見込み  横ばい  減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)  ない  ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)  ない  ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
10	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)  節減できている  横ばい  増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)  向上している  横ばい  低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)  向上している  横ばい  低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)  いる  いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)  いる  いない

成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)  目標を達成できている  進展している  目標に向かっていない

ACTION

今年度 R4方向性⇒

取組内容 各種大会・競技会参加に係る経費や部活動に必要な備品の購入への補助を行う。

来年度の実績 R3年度 中学校県内大会ほか12大会参加および鯖江中学校ほか5校の吹奏楽部の備品購入経費について補助した。

R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 R3年度は新型コロナウイルス感染症による影響で中止となる大会もあったが、コロナ前の数に近い大会が開催され、補助を行った。各種大会等に参加することにより、児童生徒の技能や体力増進が図られており、今後も補助を行い活動を継続させる必要がある。

実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 事業内容等については、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえて実施する。

R5方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒



R4年度 事業名	学校保健会事業補助			
R3年度 事業名	学校保健会事業補助			
総合戦略 体系	321	若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	学校教育環境の充実

PLAN (計画)	部署名	学校教育課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	児童生徒の保健衛生教育のために行う事業を推進する。				
	概要	近視予防啓発や歯磨き推進などの事業に対し補助を行う。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度) 4月、5月が臨時休業となったことによる授業時数の確保や感染予防のための実施内容見直し。 (R3年度) 感染状況を踏まえて実施した。 (R4年度) 感染状況を踏まえて実施する。				
法令等 根拠		実施 形態	内容	鯖江市学校保健会の行う諸事業に対し補助金を交付している。		
現在	補助金等交付					

活動指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
事業実施回数		回	目標値	4	2	2	2	2
			実績値	4	2	2		
計算 根拠	補助対象となる活動回数		達成率	100	100	100		
			実数値					
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	173	173	173	155	155		事業タイプ	単独事業
	決算額	169	169	167	155			経費区分	補助費等

No	款	項	目	事業	R4年度事業名			
					予算書額	うち事業額(千円)		
1	10	1	3	201	教育指導諸経費	14,157	155	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	155

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	10

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

行政が実施すべき事業か。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

住民等のニーズは増えているか。  
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)  
 増加する見込み  横ばい  減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
9	0点~8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または 事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)  
 節減できている  横ばい  増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

成果は目標を達成できているか。  
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)  
 目標を達成できている  進展している  目標に向かっていない

ACTION

今年度 R4方向性⇒

取組内容 学校保健会が実施する学校保健会活動に要する経費(本部負担費・印刷製本費・報償費・通信運搬費等)に助成する。

来年度の実績 鯖江市学校保健会の実施する学校保健会活動に要する経費に補助を実施した。

R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題  
R4年度も新型コロナウイルスの感染予防を徹底しながら各事業に取り組み、児童生徒の保健衛生教育が図られており、今後も補助を行い事業を継続させる必要がある。

実績と課題を踏まえたR5年度の変更点  
新型コロナウイルスの感染状況を踏まえながら、健康増進のための事業を実施しており、今後も児童生徒の保健衛生教育のために補助を継続する。

R5方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	学校生活・学習支援員等配置事業
R3年度 事業名	学校生活・学習支援員等配置事業

総合戦略 体系	321	若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	学校教育環境の充実
------------	-----	-------------	----------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	学校教育課	開始年度	2006	終了年度	9999
	目的	全ての児童生徒の学校生活と学習をサポートする。				
	概要	身体の障害や軽度の発達障害などにより学校での学習・生活を行う上で特別な援助、支援を必要とする児童生徒、中学校で相談教室に通う生徒、日本語指導が必要な児童生徒をサポートするため、学校生活・学習支援員、学級復帰支援員、外国人等への日本語初期指導員を配置する。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
法令等 根拠		実施 形態	内容	学校生活・学習支援員等を各小中学校の必要に応じて配置している。		
現在	市直営					

活動指標							
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
配置人数	人	目標値	37	40	40	43	43
		実績値	38	43	44		
成果指標							
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
支援率	%	目標値	100	100	100	100	
		実績値	100	100	100		
計算 根拠	支援が必要な児童に対して支援する割合	達成率	100	100	100		
		実数値	127/127	175/175	205/205		
		ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由							

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	64,278	68,695	92,265	90,233	94,386		事業タイプ	単独事業
	決算額	64,278	67,140	85,041	88,413			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	1	3	211	学校生活・学習支援事業費	102,920	94,386	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	94,386

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1	外国人児童生徒等支援事業費補助金	1,866
2		
3		
4		
5以降		
合計		1,866

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	46
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

行政が実施すべき事業か。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

住民等のニーズは増えているか。  
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)  
 増加する見込み  横ばい  減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
11	0点~8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または 事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)  
 節減できている  横ばい  増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

市民団体や事業者による業務委託しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

成果は目標を達成できているか。  
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)  
 目標を達成できている  進展している  目標に向かっていない

ACTION

今年度 R4方向性⇒

取組内容 発達障害、肢体等の障がいで支援が必要と認める児童に対し、学校内で学習支援、学校生活支援、介助支援などの個別支援を行う支援員を43人配置する。(医療的ケア児のために看護師等資格を持つ支援員を配置する。)

来年度の実績 R3年度 44人の学校生活・学習支援員を配置することができた。

R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 年々、支援を必要とする児童生徒が増えている。また、日本語の初期指導が必要な外国人等への対応も増えてきており、必要な人材を確実に確保する必要がある。

実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 外国人等への対応に必要な人材の確保に努める。

R5方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	市基礎学力調査事業
R3年度 事業名	市基礎学力調査事業

総合戦略 体系	321	若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	学校教育環境の充実
------------	-----	-------------	----------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	学校教育課	開始年度	2007	終了年度	9999
	目的	市内小学校児童の基礎学力、学習意欲の向上を図るとともに、小中学校の授業の改善向上、指導充実にを図る。				
	概要	小学校4年生から6年生の全児童を対象に、国語と算数の学力調査を実施し、結果を基に日々の指導に反映させることで児童の学力向上につなげる。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令等 根拠 現在	市直営	実施 形態	内容	小学校4年生から6年生の全児童を対象に、国語と算数の学力調査を実施する。	

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	学力調査のべ回数		回	目標値	3	3	3	3	3
				実績値	3	3	3		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	学力調査総検査人数/対象人数		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100		
	計算 根拠	学力調査総検査人数/(在籍人数×教科数×実施回数)		達成率	100	100	100		
				実数値	4,192/4,192	4,170/4,170	4,198/4,198		
		ランク		A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	398	398	264	205	222		事業タイプ	単独事業
	決算額	195	205	205	205			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	1	3	201	教育指導諸経費	14,157	222	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	222

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	6

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

行政が実施すべき事業か。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

住民等のニーズは増えているか。  
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)  
 増加する見込み  横ばい  減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
9	0点~8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または 事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)  
 節減できている  横ばい  増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

成果は目標を達成できているか。  
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)  
 目標を達成できている  進展している  目標に向かっていない

ACTION

今年度 R4方向性⇒

取組内容 小学校4年生から6年生の全児童を対象に、国語と算数の学力調査を実施する。この結果分析を基に指導改善を行い、児童の学力向上につなげる。

来年度へ向けて R3年度実績 R1年度より、問題数を減らし、活用力を問う内容を中心に出题することに変更した。テスト時間を短縮し、テスト後すぐに採点&解説を行う時間を確保することで、学力の定着を図った。

R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 R1年度から学力調査の方法を変更して実施しているが、R4年度からは、実施後の分析結果を3学期からの指導改善等に活かせるよう、実施時期を11月から7月に前倒した。

実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 次年度も7月実施で計画の予定。

R5方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

R4年度 事業名	学校図書館図書整備事業			
R3年度 事業名	学校図書館図書整備事業			
総合戦略 体系	323	若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	学校図書館の充実

PLAN (計画)	部署名	学校教育課	開始年度	2007	終了年度	9999
	目的	児童生徒の読書活動を推進する。				
	概要	学校図書館図書標準を達成するよう各学校図書室の図書を整備する。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令等 根拠 現在	市直営	実施 形態	内容	各小中学校に図書購入費として配当し、必要な図書を購入している。	

活動指標							
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
※設定困難		目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
図書標準達成率	%	目標値	100	100	100	100	100
		実績値	111.9	114.3	114.9		
計算 根拠	小中学校図書館蔵書数÷標準図書数×100	達成率	111.9	114.3	114.9		
		実数値	69,182/151,116	71,595/150,116	73,216/150,716		
		ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由							

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	7,000	6,900	6,900	6,210	6,210		事業タイプ	単独事業
	決算額	6,754	6,721	6,845	6,137			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	2	2	201	教育振興諸経費	71,513	3,780	
2	10	3	2	201	教育振興諸経費	20,152	2,430	
3								
4								
5以降								
							合計	6,210

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	10

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	9
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	各小中学校に図書購入費として配当し、必要な図書を購入する。
来年度へ向けて	R3年度実績 標準冊数:150,760冊に対して、現蔵冊数:173,216冊 充足率114.9%
	R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 学校によって充足率に差があるため、充足率の低い学校の蔵書数を増やす必要がある。
	実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 充足率の低い学校に対し、蔵書数を増やすよう指導する。
	R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
	CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>

取組可能な事業の詳細⇒



R4年度 事業名	産業を体験し理解を深める学習事業			
R3年度 事業名	産業を体験し理解を深める学習事業			
総合戦略 体系	242	若者が住みたくなるまちの創造	ものづくり教育とふるさと学習の推進	ものづくりを核としたふるさと教育の推進

PLAN (計画)	部署名	学校教育課	開始年度	2010	終了年度	9999
	目的	小学校児童が鯖江市の地場産業に対して理解を深め、興味を持つ。				
	概要	小学校児童が眼鏡・漆器・繊維の製作体験を行う。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度) 感染予防のため、各小学校の教室での実施に変更。 (R3年度) 感染予防のため、各小学校の教室での実施に変更。 (R4年度) 感染状況を踏まえて実施する。				
法令等 根拠		実施 形態	内容	各協会、組合に依頼し体験を実施。学校教育課から協会等に手数料を支払う。		
現在	市直営					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	市内小学校実施校数(小学校12校)		校	目標値	12	12	12	12	12
				実績値	12	12	12		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	小学生体験割合		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100		
	計算 根拠	体験した児童数÷体験対象児童数×100		達成率	100	100	100		
				実数値	672/672	732/732	658/658		
				ランク	A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,781	1,657	2,030	700	1,849		事業タイプ	単独事業
	決算額	1,781	1,657	795	610			経費区分	物件費

No	款	項	目	事業	R4年度事業名			
					予算書額	うち事業額(千円)		
1	10	1	3	201	教育指導諸経費	14,157	1,849	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	1,849

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.05
	会計年度職員	
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

行政が実施すべき事業か。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

住民等のニーズは増えているか。  
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)  
 増加する見込み  横ばい  減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
9	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)  
 節減できている  横ばい  増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

成果は目標を達成できているか。  
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)  
 目標を達成できている  進展している  目標に向かっていない

ACTION

今年度 R4方向性⇒

取組内容  
バスを借り上げて、眼鏡会館、漆器会館、織維会館の3か所のうち2か所を訪問し、眼鏡・漆器・織維の製作体験を行う。

来年度へ向けて  
R3年度実績 漆器、眼鏡、織維の鯖江地場産業について、それぞれ体験活動を行った。

R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題  
R2および3年度は、新型コロナウイルス感染予防のため、各地場産業の会館への訪問を取りやめ、各小学校の教室で実施したが、児童の地場産業に対する理解を深めることができたと考えられる。

実績と課題を踏まえたR5年度の変更点  
小学校児童が漆器の絵付け体験もしくは眼鏡材料を使ったアクセサリ作り体験、石田織の機織りや施設の見学を行う。

R5方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名

R5年度事業名

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	中学校産業教育支援事業			
R3年度 事業名	中学校産業教育支援事業			
総合戦略 体系	242	若者が住みたくなるまちの創造	ものづくり教育とふるさと学習の推進	ものづくりを核としたふるさと教育の推進

PLAN (計画)	部署名	学校教育課	開始年度	2011	終了年度	9999
	目的	生徒の地場産業への理解や関心を高める。				
	概要	デザイン教室を各中学校で実施する。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度) 感染予防のため、講師を招くかわりに、指導用DVDを用いたデザイン実習を実施。 (R3年度) 感染予防のため、講師を招くかわりに、指導用DVDを用いたデザイン実習を実施。 (R4年度) 感染状況を踏まえて実施する。				
	法令等 根拠 現在	市直営	実施 形態	内容	各中学校でデザイン教室を実施する。	

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	全ての中学校で講演会およびデザインに係る授業の実施		校	目標値	3	3	3	3	3
				実績値	3	3	3		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	優秀な作品の校内展示数		点	目標値	6	6	6	6	6
				実績値	6	6	6		
	計算 根拠	各校2点(作品)×3校		達成率	100	100	100		
				実数値					
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	849	819	825	127	126		事業タイプ	単独事業
	決算額	515	257	34	26			経費区分	物件費

No	款	項	目	事業	R4年度事業名			
					予算書額	うち事業額(千円)		
1	10	3	2	201	教育振興諸経費	20,152	126	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	126

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	24

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	9
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	鯖江市出身の様々な業界で活躍されている方を講師に招いて講演を聞くことにより自分の将来について考える機会を得ることと、眼鏡業界で働くデザイナーの指導により自分で眼鏡のデザインを行うことで地場産業に対する関心を高める。
来年度へ向けて	R3年度実績 福井県眼鏡協会の協力の下、生徒自ら眼鏡のデザインを行い、地場産業に対する関心を高めた。 R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 R2年度に作成した指導用DVDを用いて、各教室でデザイン実習を行い、眼鏡協会の協力の下、作品を選考して展示を行った。 実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 眼鏡業界からデザイナーの講師を招いて実施する。
R5方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	可能	可能	可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

R5年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	クリエイティブ教育都市事業			
R3年度 事業名	クリエイティブ教育都市事業			
総合戦略 体系	321	若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	学校教育環境の充実

PLAN (計画)	部署名	学校教育課	開始年度	2015	終了年度	9999
	目的	ICT社会を支えていく子どもたちにプログラミングなどの技術を習得させる。				
	概要	小学校において、専用パソコンを利用したプログラミング教室を開催するための企画運営を行う。				
	コロナ対応 の取組	(R2年度) 4月、5月が臨時休業となったことによる、プログラミング実習以外の授業時数の確保や感染予防のため、実施回数を減らして実施。 (R3年度) 感染状況を踏まえ、回数を減らして実施。 (R4年度) 感染状況を踏まえて実施する。				
法令等 根拠		実施 形態	内容	鯖江市において専用パソコンを購入、クラブ活動などで利用する学校に供与する。講師は民間委託。		
現在	民間等委託(全部)					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	子ども用パソコンを活用したプログラミングの基礎実習の実施小中学校数		校	目標値	15	15	15	15	15
				実績値	12	12	12		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	子ども用パソコンを活用したプログラミングの基礎実習の実施回数		回	目標値	150	135	150	140	140
				実績値	115	113	114		
	計算 根拠	クラブの実施回数88 総合学習の実施回数26		達成率	76.7	83.7	76		
				実数値					
		ランク	C	B	C				
前年度 ランク B、Cの 理由	新型コロナウイルス感染の影響を想定しない目標値を設定したが、実際は感染拡大の影響により実施回数が減ったため。								

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	700	700	700	665	665		事業タイ	交付金事業
	決算額	700	700	572	536			経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	2	2	201	教育振興諸経費	71,513	665
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	665

補助金等	No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
	1		
	2		
	3		
	4		
	5以降		
		合計	0

事業要員	正規職員	0.11
	会計年度職員	
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	9
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
	成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input type="radio"/> 目標を達成できている <input checked="" type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <b>維持</b>
取組内容	市民主役事業の取り組みとして、「ChigoJam」を利用し、市内全小中学校のクラブ活動などで子ども用パソコンを活用したプログラミングの基礎実習を実施する。
来年度の実績	市内全小学校におけるクラブ活動、および4学年全クラス総合学習として、プログラミング教育を実施した。
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	R3年度は新型コロナウイルス感染防止により、計画より回数を減らして実施したが、児童のプログラミング技術の習得が図られており、今後も感染予防を徹底しながら実施する必要がある。
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	継続してきた当事業の成果、および新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、受託者と検討・判断し実施する。
R5方向性⇒	<b>事務改善(手段・サービス水準の見直し)</b>
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	実施	実施	実施	実施	未実施

R4年度事業名	クリエイティブ教育都市事業
市民主役事業にかかる額(単位千円):	665

R5年度事業名	クリエイティブ教育都市事業
市民主役事業にかかる額(単位千円):	665

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	ふるさと教育推進事業			
R3年度 事業名	ふるさと教育推進事業			
総合戦略 体系	242	若者が住みたくなるまちの創造	ものづくり教育とふるさと学習の推進	ものづくりを核としたふるさと教育の推進

PLAN (計画)	部署名	学校教育課		開始年度	2015	終了年度	9999
	目的	ふるさと鯖江の発展を志向できる児童生徒を育てる。					
	概要	各小中学校に講師を招き、鯖江の自然・文化・伝統・産業を学ぶ。					
	コロナ対応 の取組	(R2年度) 4月、5月が臨時休業となったことによる、ふるさと教育以外の授業時数の確保や感染予防のため実施回数を減。 (R3年度) 感染状況を踏まえて実施した。 (R4年度) 感染状況を踏まえて実施する。					
	法令等 根拠 現在	市直営	実施 形態	内容	各小中学校に講師を招き、謝礼を支払う。		

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	講演会の実施率		%	目標値	15	15	15	15	15
				実績値	15	8	12		
	計算 根拠	実施小・中学校/市内小中学校15校		達成率	100	53.3	80		
				実数値					
			ランク	A	C	B			
前年度 ランク B、Cの 理由	新型コロナウイルス感染予防の為、校内に外部からの講師を入れないようにした時期が度々あったことによる。								

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	660	612	612	1,920	1,920		事業タイプ	単独事業
	決算額	554	311	307	697			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
							事業費	補助金等
1	10	2	2	201	教育振興諸経費	71,513	1,440	
2	10	3	2	201	教育振興諸経費	20,152	480	
3								
4								
5以降								
							合計	1,920

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.05
	会計年度職員	
	※所要時間	

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
合計点数	判定
8	事務改善または廃止・休止

ACTION

今年度 R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>	取組内容 市内小中学校に講師を招き、鯖江の自然・文化・伝統・産業を学ぶことを通して、ふるさと鯖江の発展を志向できる児童生徒を育てる。
来年度へ向けて R3年度の実績 市内小中学校に講師を招き、鯖江の自然・文化・伝統・産業等について学んだ。	R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 R3年度は「社会人・地域人材活用事業」を統合して実施した。新型コロナウイルス感染拡大防止により、外部講師を招く事業を縮小したが、本事業は鯖江市の発展のために重要な事業であり、今後も感染予防を徹底しながら実施する必要がある。
R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>	実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 新型コロナウイルス感染拡大防止をふまえながら、市内小中学校に講師を招いて、鯖江の自然・文化・伝統・産業等を学ぶ。
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由 令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止により、外部講師を招く事業を縮小したが、本事業は鯖江市の発展のために重要な事業であり、今後も感染予防を徹底しながら実施する必要がある。	

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	可能	可能	可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>

取組可能な事業の詳細⇒



R4年度 事業名	体育大好き支援事業			
R3年度 事業名	体育大好き支援事業(小学校)			
総合戦略 体系	324	若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	スポーツ環境の充実

PLAN (計画)	部署名	学校教育課		開始年度	2016	終了年度	9999
	目的	児童の体力向上を図る。					
	概要	専門的な知識を持った講師により、小学校については「体づくり」、「ゲーム」、「表現リズム遊び」、「器械・器具を使っの運動遊び」の指導、中学校についてはダンス指導を行い、運動好き、体育好きの児童生徒を育成する。					
	コロナ対応の取組	(R2年度)4月、5月の臨時休業の影響により日程変更・調整が必要となり9月から事業開始。 (R3年度)感染状況を踏まえて実施した。1月途中から2月にかけてコロナ感染状況が悪くなり、予定を切り上げて終了した。 (R4年度)感染状況を踏まえて実施する。					
法令等 根拠		実施 形態	内容	学校教育課において民間事業者等と委託契約。日時・内容は受託者が学校と調整し実施。			
現在	民間等委託(全部)						

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	実施小学校		校	目標値	12	12			
				実績値	12	12			
	実施校数 ※R3～小中学校		校	目標値			15	15	15
				実績値			15		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	実施回数		回	目標値	330	330		-	
				実績値	330	350			
計算 根拠			達成率	100	106.1				
実施回数 ※R3～小中学校		回	目標値			360	360	360	
			実績値			313			
計算 根拠			達成率			86.9			
			実績値						
				ランク	A	A	B		
前年度 ランク B、Cの 理由	1月途中から2月にかけてコロナ感染状況が悪くなり、学年閉鎖等が続いたため、予定実施回数を残して、業務委託を中断した為。								

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,892	1,916	1,746	1,734	2,174		事業タイプ	単独事業
	決算額	1,892	1,916	1,746	1,734			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	2	2	201	教育振興諸経費	71,513	1,786	
2	10	3	2	201	教育振興諸経費	20,152	388	
3								
4								
5以降								
							合計	2,174

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	10

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

行政が実施すべき事業か。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

住民等のニーズは増えているか。  
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)  
 増加する見込み  横ばい  減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
9	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)  
 節減できている  横ばい  増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

市民団体や事業者による業務委託しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

成果は目標を達成できているか。  
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)  
 目標を達成できている  進展している  目標に向かっていない

ACTION

今年度 R4方向性⇒

取組内容 学校体育において、発達段階に応じた指導内容の充実を図ることにより、児童に体を動かす楽しさや心地よさを味わわせ、「運動好き」「体育好き」の児童を育成するとともに、生涯にわたって運動に親しむ基礎を培う。併せて、指導者の資質向上を図ることにより本市児童の体力の向上を目指す。

来年度の実績 R3年度 各種目ごとの専門家から、専門的な知識や技能を学ぶだけでなく、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことができ、児童生徒の意欲と基礎体力の向上につながった。また、専門家の指導を取り入れながら授業改善に取り組む教員もおり、教員の資質向上も図られている。なお、同一事業である「体育大好き支援事業(中学校)(3386)」をこちらに統合する。

R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 R3年度終盤は、小学校での新型コロナウイルス感染状況が悪化し、実施予定がキャンセルになることが多く、予定を繰り上げて終了したが、すべての小中学校で実施することができた。本事業により、体育好きな児童生徒を育成し、更なる体力向上を図るため、今後も感染予防を徹底しながら実施する必要がある。

実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 事業内容等については、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、受託者と検討・判断しながらできる限り実施し、児童生徒の体力向上を図る。

R5方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	実施	実施	実施	実施	未実施

R4年度事業名	体育大好き支援事業	市民主役事業にかかる額(単位千円):	2,174
R5年度事業名	体育大好き支援事業	市民主役事業にかかる額(単位千円):	2,172

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	部活動指導員配置事業
R3年度 事業名	部活動指導員配置事業

総合戦略 体系	324	若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	スポーツ環境の充実
------------	-----	-------------	----------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	学校教育課	開始年度	2018	終了年度	9999
	目的	教員の負担を軽減し、生徒への指導や教科研究等に注力できる体制づくりを図る。				
	概要	部活動の指導や引率等を行う部活動指導員を各中学校に配置する。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令等 根拠 現在	市直営	実施 形態	内容	中学校において部活動の指導、大会への引率等を行う。（一部の部活動）	

活動指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
部活動指導員を配置する市内の中学校数		校	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3		
成果指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
部活動指導員による活動時間		時間	目標値	1,620	2,160	2,160	2,160	2,160
			実績値	1,458	1,771	1,755		
計算 根拠			達成率	90.0	82.0	81.3		
			実数値					
			ランク	B	B	B		
前年度 ランク B、Cの 理由	コロナ感染の状況悪化により、年度途中で部活動を中止したことにより、予定実施回数に達しなかった為。							

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	2,700	2,708	3,600	3,600	3,600		事業タイプ	補助(県)事業
	決算額	1,798	2,348	2,841	2,809			経費区分	人件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	3	2	201	教育振興諸経費	20,152	3,600	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	3,600

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1	部活動支援員配置事業費補助金	2,376
2		
3		
4		
5以降		
合計		2,376

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	1620

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
合計点数	9
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

ACTION

今年度 R4方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>	取組内容 3中学校に5人の指導者を配置し、部活動にかかる教員の負担を軽減する。
来年度の実績	市内3中学校で5人の指導者に指導を依頼し、実施することができた。
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	教員の負担軽減につながることから、必要な人材を確保・配置する必要がある。
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	特になし
R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>	CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	学校運営支援員配置事業
R3年度 事業名	学校運営支援員配置事業

総合戦略 体系	321	若くて元気のまちの創造	子どもがいいきと過ごすまち	学校教育環境の充実
------------	-----	-------------	---------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	学校教育課	開始年度	2018	終了年度	9999
	目的	教員の負担を軽減し、児童生徒への指導や教科研究等に注力できる体制づくりを図る。				
	概要	学習プリントの印刷などを教員に代わって行うサポートスタッフを各小中学校に配置する。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令等 根拠 現在	市直営	実施 形態	内容	各小中学校に1名ずつ以上配置し、学習プリント等の印刷、配布準備、授業準備など教員の補助業務を行う。	

活動指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
学校運営支援員を配置する市内の小中学校数		校	目標値	15	15	15	15	15
			実績値	15	15	15		
成果指標								
指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
学校運営支援員による活動時間		時間	目標値	5,565	5,670	5,670	5,670	5,670
			実績値	4,602	6,244	4,629		
計算 根拠			達成率	82.7	110.1	81.6		
			実数値					
			ランク	B	A	B		
前年度 ランク B、Cの 理由	新型コロナウイルス感染の影響により必要な活動時間数の確保ができなかったため。							

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額	4,400	4,730	6,263	4,877	4,990		事業タイ	補助(県)事業
	決算額	3,557	3,912	6,263	4,629			経費区分	人件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	10	2	2	201	教育振興諸経費	71,513	3,696
2	10	3	2	201	教育振興諸経費	20,152	1,294
3							
4							
5以降							
合計							4,990

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1	学校運営支援員配置事業費補助金	2,464
2	学校運営支援員配置事業費補助金	862
3		
4		
5以降		
合計		3,326

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	20
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

行政が実施すべき事業か。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

住民等のニーズは増えているか。  
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)  
 増加する見込み  横ばい  減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
9	0点~8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または 事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)  
 節減できている  横ばい  増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

成果は目標を達成できているか。  
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)  
 目標を達成できている  進展している  目標に向かっていない

ACTION

今年度 R4方向性⇒

取組内容 全小中学校に配置し、教員の負担を軽減する。

---

来年度の実績 R3年度 各12小学校に15人、各3中学校に4人の支援員を配置した。

R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 R4年度は各12小学校に16人、各3中学校に5人の支援員を配置しているが、引き続き教員の負担軽減を図るため、必要な人材を確保し配置する必要がある。

実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 特になし

R5方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R4年度 事業名	SDGs教育推進事業			
R3年度 事業名	SDGs教育推進事業			
総合戦略 体系	321	若くて元気のまちの創造	子どもがいいきと過ごすまち	学校教育環境の充実

PLAN (計画)	部署名	学校教育課		開始年度	2019	終了年度	9999
	目的	SDGsの理念を小中学生が理解する。					
	概要	SDGsの理念を中学生が理解するための講演会等を開催する。また、小学生はSDGs推進センターを訪問し、SDGsについて学ぶ。					
	コロナ対応 の取組	(R2年度) 感染予防のため、オンラインによる講演会(外部講師)に変更。 (R3年度) 感染予防のため、オンラインによる講演会(SDGsセンター講師)に変更。 (R4年度) 感染状況を踏まえて実施する。					
	法令等 根拠 現在	市直営	実施 形態	内容	中学生にはSDGs講演会を開催する。小学生はSDGs推進センターを訪問してSDGsについて学習する。		

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	講演の対象となる小中学校		校	目標値	3	3	3	15	15
				実績値	3	3	3		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	実施回数		回	目標値	3	3	3	15	15
				実績値	3	3	3		
	計算 根拠			達成率	100	100	100		
				実数値					
		ランク	A	A	A				
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額		200	110	40	926		事業タイプ	単独事業
	決算額		108	110	0			経費区分	人件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	1	3	201	教育指導諸経費	14,157	926	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	926

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。 (1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
合計 点数	9
点数区分	0点~8点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止
判定	維持または事務改善
有効性	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) <input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <input type="text" value="内容拡大"/>
取組内容	2030年の地球を担う鯖江市内の中学校3年生の生徒を対象に、持続可能な開発目標(SDGs)の理念を定着させることを目的に、SDGs推進センター職員による講演会を行う。また、小学生はSDGs推進センターを訪問し、SDGsについて学ぶ。
来年度へ向けて	R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題 R2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染予防のためオンラインでの講演会とした。新たに開設された「さばえSDGs推進センター」の専門職員を講師にお願いし、SDGsに関する理解を深める機会とできた。 R4年度は、2校はオンラインで、1校はセンターからの出前事業で受講予定。また小学生についても、SDGsについて学ぶための事業を実施する。 実績と課題を踏まえたR5年度の変更点 小中学生がSDGsについて理解を深める事業を行う。
R5方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

R5年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒



R4年度 事業名	特色ある学校づくり事業			
R3年度 事業名	特色ある学校づくり事業(小学校)			
総合戦略 体系	321	若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	学校教育環境の充実

PLAN (計画)	部署名	学校教育課	開始年度	2020	終了年度	9999
	目的	各学校が「学校経営ビジョン」に沿って、創意工夫をこらしながら特色ある学校づくりを進める。				
	概要	各教科、道徳および特別活動や身につけた知識や技能等を生かし、自然体験やボランティア活動、防災ライフ、産業体験等の社会体験、ものづくりや生産活動等体験的な学習を計画的に行う。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令等 根拠 現在	市直営	実施 形態	内容	学校に予算配当を行う。	

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	対象となる小学校	校	目標値		12				
			実績値		12				
	対象となる学校 ※R3～小中学校	校	目標値			15	15	15	
			実績値			15			
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023
	活動児童数	名	目標値		1,361				
			実績値		1,361				
	計算 根拠	小学校5,6年生の児童数	達成率		100				
			実数値						
	活動児童・生徒数 ※R3～小中学校	名	目標値			3,502	3,499	3,500	
			実績値			3,502			
	計算 根拠	小学校5,6年生の児童数 中学校全学年の生徒数	達成率			100			
実数値									
		ランク		A	A				
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	一般会計
	予算額			2,400	8,286	9,000		事業タイプ	単独事業
	決算額			2,245	8,286			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	2	2	251	特色ある学校づくり事業費	6,000	6,000	
2	10	3	2	251	特色ある学校づくり事業費	3,000	3,000	
3								
4								
5以降								
							合計	9,000

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1	ふるさとの魅力発信推進事業補助金	300
2		
3		
4		
5以降		
合計		300

事業要員	正規職員	0.05
	会計年度職員	
	※所要時間	

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
合計点数	判定
10	維持または事務改善

ACTION

今年度 R4方向性⇒ <input type="text" value="統合"/>	取組内容
	学校の独自性を活かしながら様々な事業を実施する。
来年度へ向けて	R3年度実績
	学校の独自性を活かしながら様々な事業を実施した。
	R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題
	特になし
	実績と課題を踏まえたR5年度の変更点
	学校の独自性を活かしながら様々な事業を実施する。
R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>	CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>

取組可能な事業の詳細⇒